

第54回 2022（令和4）年
社会保険労務士試験

T A C 社会保険労務士講座

本試験分析

この資料は、第54回本試験実施後、受験者の皆様から寄せられた復元解答を元に、選択式及び択一式試験の平均点、得点分布等を算出し、分析結果を記載したものです。

本試験問題の「解答・解説」「科目別のコメント」「択一式問題の難易度一覧表」等につきましては本試験終了後に実施した解答解説会時配布資料に掲載しております。

なお、この資料の分析結果は、あくまでも復元解答を元に作成した現時点でのT A Cの見解であり、第54回本試験の結果を保証するものではありません。

途中の分析過程を省き、総合ラインのみ確認したい方は、P.7へ

※2022（令和4）年「社会保険労務士データリサーチ」を利用された皆様へ
画面上に表示されている点数・利用者数等と、当資料で用いている点数・利用者数等は異なっています。これは、「A, A, A, A…」 「1, 1, 1, 1…」といった本試験において実際に解答されているものとは異なると予想されるものや免除科目のある方等をデータ上から除き再集計しているためです。あらかじめご了承ください。

第54回社会保険労務士試験 分析資料

選択式試験

●TACデータリサーチより

年	基安	労災	雇用	労一	社一	健保	厚年	国年	計	基準点	合格率
2022 (R4)	4.3	4.2	3.7	3.4	2.8	4.2	3.8	4.0	30.3	?	?
2021 (R3)	3.9	3.9	3.8	1.9	3.4	3.9	3.5	3.2	27.6	24	7.9
2020 (R2)	3.0	4.6	4.5	2.4	2.9	3.4	4.0	3.6	28.5	25	6.4
2019 (R元)	4.3	4.6	4.5	3.1	2.3	3.9	4.2	4.3	31.3	26	6.6
2018 (H30)	3.3	4.0	4.4	3.0	3.0	4.0	3.4	2.8	27.9	23	6.3
2017 (H29)	4.3	4.4	3.7	2.9	3.5	2.7	3.9	3.7	29.0	24	6.8
2016 (H28)	4.2	4.3	2.8	2.1	3.5	3.3	3.2	3.9	27.3	23	4.4
2015 (H27)	3.9	2.6	3.8	1.9	3.2	2.8	3.1	3.2	24.5	21	2.6
2014 (H26)	4.1	4.2	4.3	3.0	4.0	3.6	4.1	4.8	32.2	26	9.3
2013 (H25)	3.9	1.9	3.6	3.3	1.9	2.1	3.8	4.4	24.9	21	5.4

※白抜き数字は2点（2013年の社一、2021年の労一は1点）が認められた科目

■□■今年度の選択式試験の特徴及び従来との比較■□■

- ◇平均点は30.3点と昨年を2.7点上回っており、近年では、合格基準点が26点とされた2019年に次いで高い水準となっている。
- ◇最も点数が伸びていなかった科目は「社一」で、平均点は2.8点、3点以上割合は、60.3%となっている。

●点数の分布割合等

(単位：%)

割合	基安	労災	雇用	労一	社一	健保	厚年	国年
0点	0.1	0.1	0.3	0.3	0.7	0.8	0.8	0.4
1点	0.2	1.2	1.2	1.2	7.0	1.3	2.2	0.6
2点	2.8	4.8	7.1	12.0	32.0	4.3	4.0	4.2
3点	13.6	15.2	32.7	38.1	37.7	13.4	15.6	14.7
4点	33.0	29.8	40.4	39.7	19.3	33.0	68.7	50.4
5点	50.3	48.9	18.4	8.7	3.2	47.2	8.8	29.7

3点以上割合	96.9	93.9	91.5	86.5	60.3	93.6	93.1	94.8
2点以上割合	99.7	98.7	98.6	98.5	92.3	97.9	97.0	99.0

択一式試験

●TACデータリサーチより

年	基安	災徴	雇徴	常識	健保	厚年	国年	計	基準点	合格率
2022 (R4)	6.4	5.4	6.8	6.0	5.5	6.5	6.0	42.6	?	?
2021 (R3)	6.3	6.0	6.0	5.9	6.2	6.8	7.2	44.4	45	7.9
2020 (R2)	6.6	6.8	6.4	5.6	5.7	6.4	6.2	43.6	44	6.4
2019 (R元)	6.0	6.5	6.2	5.5	5.5	6.9	6.0	42.5	43	6.6
2018 (H30)	6.7	7.0	6.4	5.2	6.9	6.3	5.9	44.4	45	6.3
2017 (H29)	6.3	6.0	6.4	5.6	6.8	6.1	7.1	44.3	45	6.8
2016 (H28)	5.7	6.0	6.2	5.4	5.6	5.8	4.8	39.4	42	4.4
2015 (H27)	6.4	6.1	5.6	5.4	5.2	6.5	6.1	41.4	45	2.6
2014 (H26)	6.6	6.5	6.2	4.9	7.0	6.9	6.2	44.3	45	9.3
2013 (H25)	7.1	6.6	6.4	6.3	5.9	6.3	5.8	44.4	46	5.4

※白抜き数字は、3点可とされた科目

※2020年 労災問6は正答なし。全員加点。

※2015年 雇用問6は正答なし。全員加点。

■□■今年度の択一式試験の特徴及び従来との比較■□■

- ◇平均点は42.6点と昨年を1.8点下回っている。
- ◇組み合わせ問題、個数問題は、昨年と同数(組み合わせ問題5問、個数問題3問)の出題となっていた。また、組み合わせ問題では、労災問7で4肢から構成される出題がみられた。
- ◇最も平均点の高い科目は「雇徴」の6.8点、最も低いものは「災徴」の5.4点となっている。全体の平均点は42.6点と、合格基準点が43点となった2019年に近い点数となっている。
- ◇「健保」問6A及び問10Aで、条文に照らすと不備があると思われる出題がみられた。

●点数の分布割合等

(単位：%)

割合	基安	災徴	雇徴	常識	健保	厚年	国年
0点	0.0	0.0	0.1	0.4	0.1	0.1	0.1
1点	0.2	0.3	0.3	0.9	1.1	0.8	1.7
2点	1.7	2.0	2.3	1.9	4.3	1.7	2.4
3点	3.3	6.7	4.1	5.5	7.6	4.1	6.3
4点	7.8	16.2	5.3	11.1	13.9	7.0	9.6
5点	14.0	26.3	10.4	17.1	21.3	12.2	15.6
6点	22.5	25.3	15.2	21.3	22.4	18.3	21.2
7点	24.4	15.8	24.9	19.8	16.5	24.6	21.5
8点	17.8	6.0	19.3	14.8	8.9	18.3	14.1
9点	7.5	1.3	15.0	6.1	3.2	10.9	7.1
10点	0.8	0.1	3.2	1.1	0.8	1.9	0.4

4点以上割合	94.8	91.0	93.2	91.3	86.9	93.2	89.5
---------------	------	------	------	------	------	------	------

【総合得点の検証】

●選択式の総合得点

厚生労働省が公表している、「社会保険労務士試験の合格基準の考え方について」（以下、「合格基準の考え方」という。）をみると、合格基準点は、満点の7割である「28点」を基本とし、全体の平均点を考慮した上で、前年の合格基準点を調整することとされている。

詳細なデータは後述するが、データリサーチの集計結果の平均点と過去の本試験の実際の平均点を比較すると、年によってある程度の誤差はあるが、本試験の結果に対してデータリサーチの集計結果は約7点程度高く出る傾向にある。これは、データリサーチの利用者が比較的得点の高い受験生に偏っている傾向にあるためと考えられる。また、実際の本試験の平均点が大きく上下した場合には、データリサーチの平均点も同様の動き方を示す傾向を示しており、両者の動きにはある程度の共通性があると推測することができる。本年度も同様であれば、昨年よりも合格基準点は引き上げられる可能性が高い。

●択一式の総合得点

選択式同様、「合格基準の考え方」をみると満点の7割である「49点」を基本とし、全体の平均点を考慮した上で、前年の合格基準点を調整することとされている。

択一式の平均総合得点（42.6点）は、45点が合格基準点であった昨年のデータリサーチ結果と比較すると、1.8点の低下となっている。

こちらにも詳細なデータは後述するが、データリサーチの集計結果の平均点と過去の本試験の実際の平均点を比較すると、本試験の結果に対してデータリサーチの集計結果は約12点程度高く出る傾向にある。選択式同様、データリサーチの利用者が比較的得点の高い受験生に偏っているためと考えられるが、やはり、実際の本試験の平均点が上下した場合には、データリサーチの平均点も同様の動きをする傾向にあり、両者の動きには、選択式同様、ある程度の共通点がみられる。前述の通り、データリサーチの択一式総合得点の平均点は昨年と比較し、1.8点の低下となっているため、昨年の合格基準点よりも引き下げられる可能性が高い。

【合格基準補正（いわゆる救済）の可能性について】

●選択式の合格基準補正の可能性

前述の、「合格基準の考え方」で「科目最低点の補正」の考え方をみてみると、補正（いわゆる救済）については、以下のように記されている。

各科目の合格基準点（選択式3点、択一式4点）以上の受験者の占める割合が5割に満たない場合は、合格基準点を引き下げ補正する。

ただし、次の場合は、試験の水準維持を考慮し、原則として引き下げを行わないこととする。

- i) 引き下げ補正した合格基準点以上の受験者の占める割合が7割以上の場合
- ii) 引き下げ補正した合格基準点が、選択式で0点、択一式で2点以下となる場合

今年の選択式試験では、全科目のうちで平均点が3点未満の科目は[社一]2.8点の1科目となっている。[社一]の3点以上割合をみてみると、60.3%であり、上記の補正が行われる要件を満たしていない。しかし、前述の通り、データリサーチの利用者は比較的得点の高い受験生に偏っている傾向にあることも考慮する必要があると思われる。

今少し、詳細を検討してみよう。

本年の選択式 [社一] のデータリサーチでの得点分布は、以下の通りである。

DR	0点	1点	2点	3点	4点	5点	平均点
割合	0.7	7.0	32.0	37.7	19.3	3.2	2.8
累計	0.7	7.7	39.7	77.5	96.8	100.0	

過去のデータリサーチで、上記に近い分布のものを、以下の条件で抽出してみよう。

- ①平均点が2点台後半
- ②1点以下割合が10%未満
- ③ボリュームゾーンが2点・3点で、3点割合の方が大きい。

[平成24年]の[社一]が以上の条件を満たしており、実際の本試験の得点分布と比較してみると下記の通りとなっている。

DR	0点	1点	2点	3点	4点	5点	平均点
割合	1.3	8.5	31.5	36.5	19.0	3.2	2.7
累計	1.3	9.8	41.3	77.8	96.8	100.0	

本試験	0点	1点	2点	3点	4点	5点	平均点
割合	6.3	23.1	35.0	25.8	8.8	0.9	2.1
累計	6.3	29.5	64.5	90.3	99.1	100.0	

平成24年の社一は、合格基準点を2点に引き下げると、合格基準点を下回る割合が29.5%となり、合格基準点以上の割合が7割を超えるため、補正は行われていないが、かなりきわどい数字となっている。データリサーチの利用者が比較的得点の高い受験生に偏っている傾向にあること考慮すると、受験生全体でみた場合の今年の[社一]は、補正の要件を満たしている可能性がある。また、昨年の本試験では、以下のように、合格基準点以上の割合が7割を超えている（合格基準点未満の割合が3割を切る）労一及び国年でも補正が行われていることを考えると、今年の[社一]について2点補正が行われる可能性は残っていると考えられる。

令和3年 労一（合格基準点1点）

本試験	0点	1点	2点	3点	4点	5点	平均点
割合	15.9	34.9	32.0	13.9	3.1	0.3	1.5
累計	15.9	50.7	82.7	96.6	99.7	100.0	

令和3年 国年（合格基準点2点）

本試験	0点	1点	2点	3点	4点	5点	平均点
割合	5.0	19.5	31.8	26.5	13.0	4.2	2.1
累計	5.0	24.5	56.2	82.8	95.8	100.0	

●択一式の合格基準補正の可能性

今年の択一式試験のデータリサーチの平均点は、昨年より低くなっている。しかし、極端に平均点が低い科目はみられず、いずれの科目についても、補正が行われる可能性は低いと思われる。しかし、過去のデータリサーチの集計結果と本試験の結果をみると、平成29年の[厚年]のように、データリサーチの平均点が決して低いわけではないが、補正が行われた科目も存在している。受験生全体のデータをみてみないとはっきりしたことはわからないが、現時点で補正が行われる可能性は低いといえよう。

総合的な合格基準分析

【参考1】過去の本試験結果とデータリサーチの結果

	選択式				択一式			
	リサーチ平均(a)	本試験平均(b)	合格基準点	(a)-(b)	リサーチ平均(a)	本試験平均(b)	合格基準点	(a)-(b)
2013 (H25)	24.9	18.5	21	6.4	44.4	33.0	46	11.4
2014 (H26)	32.2	23.1	26	9.1	44.3	31.6	45	12.7
2015 (H27)	24.5	18.6	21	5.9	41.4	31.3	45	10.1
2016 (H28)	27.3	20.5	23	6.8	39.4	28.8	42	10.6
2017 (H29)	29.0	21.3	24	7.7	44.3	31.9	45	12.4
2018 (H30)	27.9	20.5	23	7.4	44.4	32.1	45	12.3
2019 (R元)	31.3	23.7	26	7.6	42.5	30.2	43	12.3
2020 (R2)	28.5	22.7	25	5.8	43.6	31.5	44	12.1
2021 (R3)	27.6	21.8	24	5.8	44.4	32.3	45	12.1

【参考2】データリサーチ結果に基づく合格基準点の予想

	選択式				択一式			
	リサーチ平均	予想本試験平均点	予想合格基準点	過去※の(a)-(b)の平均	リサーチ平均	予想本試験平均点	予想合格基準点	過去※の(a)-(b)の平均
2022 (R4)	30.3	23.3	26	7.0	42.6	30.4	43	12.2

※TACデータリサーチにおいて分析可能な2007 (H19)年から2021 (R3)年の平均

- ここまで述べてきた通りデータリサーチの平均点は、本試験全体の平均点よりも高い数値となる傾向にあるが、上昇低下については、本試験全体の平均点と同様の動きとなる傾向がみられる。このことから考えると、データリサーチの結果から、本試験全体の平均点を推測し、本年度の合格基準点を予想していくことがおそらく最も現実的であろう。
- まず、選択式であるが、データリサーチの平均点は、30.3点であり、前年のデータリサーチ平均点27.6点に対し、+2.7点となっている。本試験全体の昨年の平均点は21.8点、過去のデータリサーチ平均点と本試験平均点の乖離の平均値は7.0点となっており、ある程度の誤差があることは否めないが、本年の本試験平均点は、23.3点と予想できる。対前年で考えると、+1.5点となり、これを公表されている「合格基準の考え方」にある、「総得点について、前年度の平均点との差を小数第1位まで算出し、それを四捨五入し換算した点数に応じて前年度の合格基準点を上げ下げする（例えば、差が-1.4点なら1点下げ、+1.6点なら2点上げる。）」という考え方にあてはめると、本年度の合格基準点は、26点が有力となる。また、補正についてはP.5から述べたように、データリサーチの数値からみる限り本年は行われぬ可能性が高いが、[社一]について、可能性が残されていると思われる。

3. 次に、択一式についても、選択式と同様に考えていってみよう。本年のデータリサーチの平均点は42.6点で、前年の44.4点と比較して低下している。本試験全体の昨年の平均点は32.3点、過去のデータリサーチ平均点と本試験平均点の乖離の平均値は12.2点である。以上の内容から、本試験の平均点は30.4点と予想でき、前年の平均点から▲1.9点となる。「合格基準の考え方」では、「前年度の平均点との差を小数点第1位まで算出し、それを四捨五入し換算した点数に応じて前年度の合格基準点を上げ下げする。」としているため、昨年の本試験の合格基準点より2点低い43点が有力となる。しかし、前述の「合格基準の考え方」のなかに、総得点について、「合格基準点を上下させた際、四捨五入によって切り捨て又は繰り入れされた小数点第1位以下の端数については、平成13年度以降、累計し、±1点以上となった場合は、合格基準点に反映させる。」との記載があり、この累計によっては、合格基準点が1点引き上げられる可能性がある。また、[健保]問6A及び問10Aの出題は、条文に照らすと不備のある問題文となっている。他に明らかな正答肢があるため、TACでは特に複数解答とはしていないが、仮に複数解答や全員正解となれば、やはり、択一式の合格基準点に影響を与える可能性もある。以上を考慮した場合、択一式の合格基準が引き上げられ、44点となる可能性が残されている。次に、択一式の補正の可能性であるが、本試験とデータリサーチとの乖離により、全く可能性がないとは言えないが、P.6でも述べた通り、補正が行われる可能性は低いと思われる。

4. 本年度の本試験の難易度をデータリサーチの平均点でみると、選択式は昨年よりも易しく、択一式は難しくなっている。選択式については、昨年、一昨年と[労一]でみられた奇をてらった出題もなく、しっかり学習してきた受験生であれば、各科目とも、科目毎の合格基準点である3点以上を確保できたのではないだろうか。合格基準の設定や選択式の補正については、P.4から触れた通りだが、補正については「本来の合格基準点を下回る人の割合が高い」場合に行われることが分かっているが、全体の得点分布によっては補正が見送られたり、データリサーチの内容からは予想することが困難な科目が対象となることもあり、完全な予測をすることは困難である。また、択一式の合格基準も本試験での実際の得点分布や平均点を完全に把握することは困難であり、絶対と言うことはできないが、データリサーチの結果から考えた場合、現状では前記**2****3**で述べた合格ラインが有力であると考えられる。